

optrel weldcap bump

自動遮光溶接面

<取扱説明書>

はじめに

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。

I. 安全に関するお願い

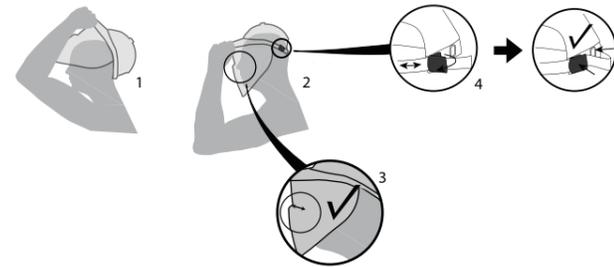
- 本製品を用いて使用者を保護するためには、本製品の機能範囲への十分な理解、適切に使用するためのトレーニング、および危険を未然に防ぐための点検やメンテナンスがとても重要です。ご使用に際して本取扱説明書の記載内容に従わずに発生したあらゆるトラブル、事故に関しては一切の責任を負いません。
- 溶接作業では、目および皮膚の負傷の原因となる熱と光線が放出されます。毎回の作業の前に、自動遮光溶接面を注意深く点検してください。パーツの割れやヒビは、製品が持つ本来の保護性能を著しく低下させます。破損があるパーツはすぐに交換してください。自動遮光フィルターの変動に不具合がある場合は、直ちに使用を中止し、本取扱説明書に従ってトラブルシューティングを行ってください。
- 本製品は溶接作業及び研磨作業以外の用途に使用する事はできません。また、レーザー溶接/切断用保護面として使用することはできません。本製品を使用目的範囲外で使用した場合、永久的な目の障害を負う可能性があります。

II. 保証と法的責任

保証は部品欠陥もしくは製造欠陥に限り適用されます。本製品を使用目的範囲外で使用した場合、本取扱説明書の記載内容に従わずに発生したあらゆるトラブル、事故に対して保証は適用されず、弊社が法的責任を問われることはありません。optrel 純正品以外の交換部品が使用された場合も同様に保証は失効し、弊社が法的責任を問われることはありません。

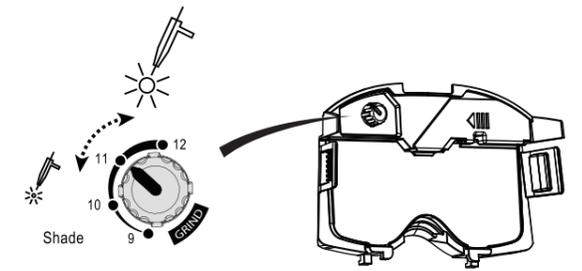
III. 溶接を始める前に

weldcap bump をかぶり顔と面との距離を調節し、繊維製帽体の後頭部にあるヘッドバンドを頭の周囲サイズにフィットするよう調節してください。



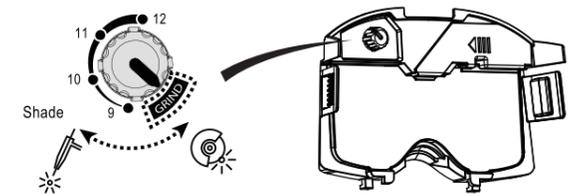
IV. 遮光レベルの設定

- 遮光レベルの設定は、遮光レベルノブを9～12に設定することができます。



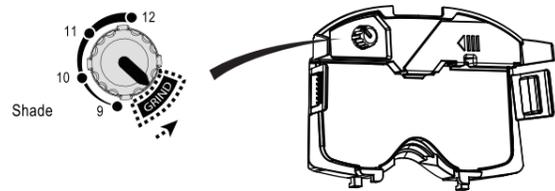
V. 研磨加工への変更

- 遮光レベルのノブを”GRIND”に設定すると、シェードカートリッジが研磨モードに変わります。このモードでは、カートリッジが無効になり、明るい状態が保たれます。(研磨モードにする時は、遮光レベルのノブを必ずストッパーまで回してください。)



VI. 待機モードへの変更

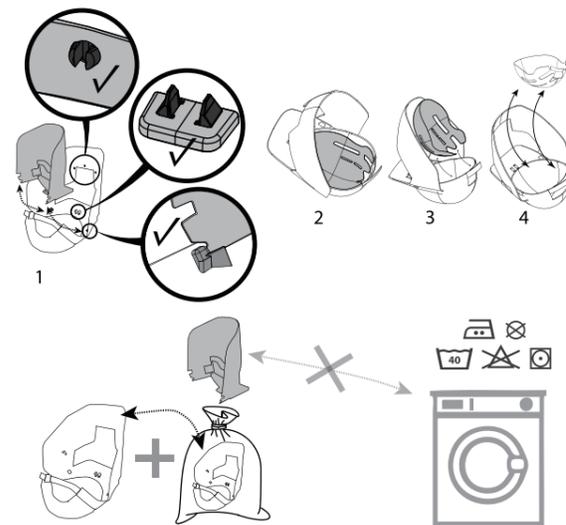
- 夜間等、本製品を使用しない場合は、遮光レベルのノブを“GRIND”にセッティングしてください。(電池の寿命をより長く保つことができます。)



VII. 繊維部分の洗濯方法

- 洗濯できるのは、頭部、首保護用の繊維部分のみです。プラスチックパネルを含むシェードカートリッジや電子機器は、絶対に水で洗わないでください。
- 繊維部分を洗濯する際は、市販の洗濯用保護袋をご使用ください。(縫い付けられたプラスチックパーツの突起物が他の洗濯物を損傷する恐れがあります。)
- 本製品を洗濯後、最低1日は乾燥させてください。(プラスチックパーツは、水分を吸収します。それによりパーツの剛性が低減し、マスクにしっかりと固定されなくなります。プラスチックパーツが従来の剛性取り戻すには、1日～2日乾燥が必要です。)
- 必ず洗濯表示に沿って洗濯してください。(40℃、ドライクリーニングや漂白をしない。)

- 洗濯回数が15回を超えた頃から、繊維部分の耐熱性が大幅に低下し始めます。スプレー等を使ってコーティングするか、新しいパーツと交換してください。本製品取り扱い店で購入できます。



VIII. 清掃方法

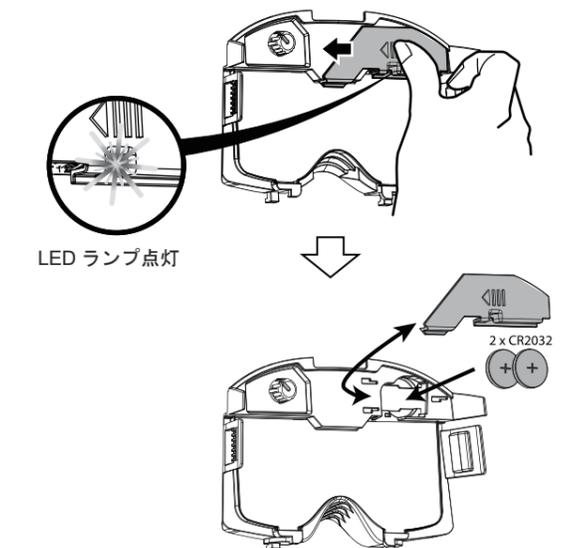
シェードカートリッジやフロントカバーレンズは、乾いた柔らかい布で定期的に清掃してください。清掃時に洗剤、溶材、アルコールもしくは研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。パーツの割れやヒビは、製品が持つ本来の保護性能を著しく低下させます。破損があるパーツすぐに交換してください。

IX. 保管方法

本製品は、湿度の低い場所で常温で保管してください。長持ちさせるためになるべくオリジナルの包装を使用して保管してください。

X. 各パーツの交換方法

- 電池の交換
電池(RC2032, 2個)は、シェードカートリッジ右側上部のバッテリーカバー内部にセットされています。電池残量の確認は、右側の赤ライトが、点滅したら以下の4つのステップで電池を交換してください。
① バッテリーカバーを取外します。
② バッテリーを取外します。各自治体の規定にしたがって廃棄してください。
③ 電池(RC2032)の極性(+-)確認の上交換してください。
④ バッテリーカバーを取付けてください。

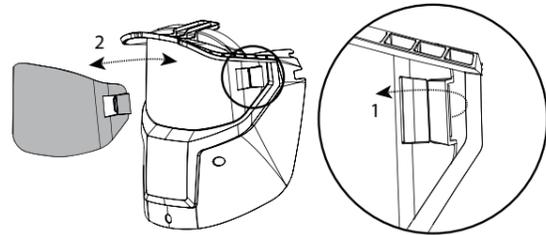


● 電池の寿命

- ①電池は、中間の遮光レベルで溶接を行った場合、約 1000 時間保持できます。
- ②電池をまったく使用しない場合(研磨モード)では、およそ2年間(10000 時間) 保持できます。
- ③本製品を太陽光のあたる場所に保管する(センサーに直射日光を当てる) ことで電池の寿命を著しく長く保つことができます。

● フロントカバーレンズの交換

フロントカバーレンズの両端のつまみを前方に押しつけてレンズを取外します。取付はこの反対の手順で行ってください。



8

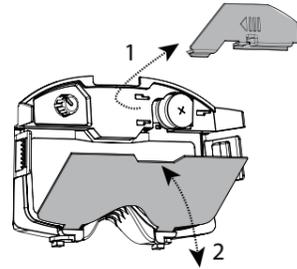
XII. テクニカルデータ

遮光レベル (明状態)	#3
遮光レベル (暗状態)	#9 ~ 12
紫外線/赤外線保護	明るい場所及び暗い場所で 最大限の保護
遮光速度	160µs (23°C時) 110µs (55°C時)
戻り速度	0.3 秒
シェードカートリッジの寸法	約 47mm x 115mm
電源供給方法	ソーラー電池、 リチウム電池 3V (CR2032) x 2 個 (アークスタート時のみ使用)
重量	420g
使用温度	10°C ~ 60°C
保管温度	-20°C ~ 80°C
目の保護規格	最高 40°C EN379 光学クラス : 1 散光 : 1 均質性 : 1 視角依存性 : 2
国際基準	CE,ANSI,AS/NZS,EAC

12

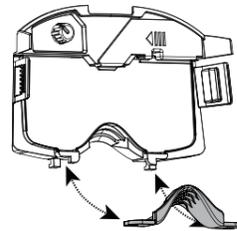
● 内側カバーレンズの交換

バッテリーカバーを取外し、内側カバーレンズの上部を引き起こしてレンズを外します。取付はこの反対の手順で行ってください。



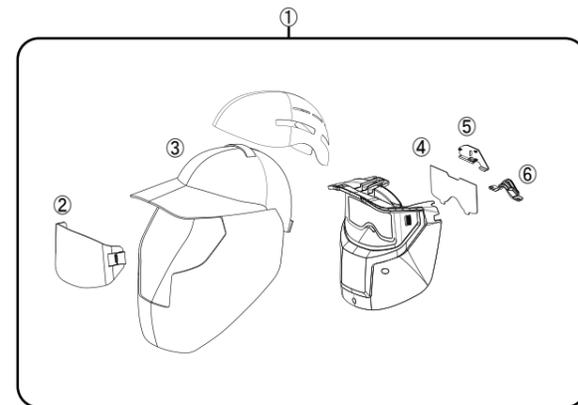
● ノーズパッドの交換

ノーズパッド両端(四角穴部)を指で下方へ押しシェードカートリッジから取外します。取付はこの反対の手順で行ってください。



9

XIII. 交換部品リスト

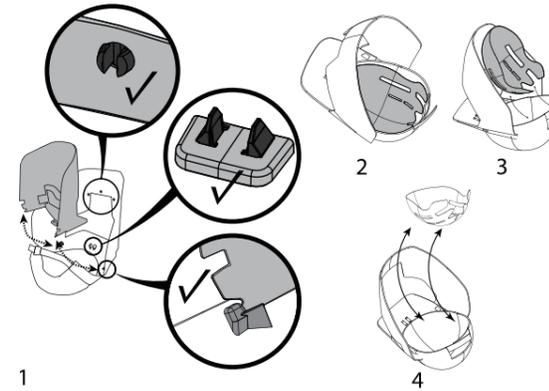


名 称	型 番
① 自動遮光溶接面 weldcap bump	
① weldcap bump 一式	1008.001
② フロントカバーレンズ	5000.260
③ 頭部、首保護用繊維パーツ	5002.810
④ 内側カバーレンズ	5000.040
⑤ 電池カバー	5002.720
⑥ ノーズパッド	5002.700

13

● 頭部、首保護用繊維パーツの交換

- ① 頭部、首保護用繊維部分からプラスチックパネルを取外します。(プラスチックパネルの上部 2 か所、上部両端 2 か所及びマウス部 3 か所の留め具をはずす。)
- ② 繊維部分から頭頂部保護用のプラスチックパーツを取外します。
- ③ 取付は、この反対の手順で行ってください。



10

XI. トラブルシューティング

- シェードカートリッジが暗くならない場合
 - 研磨モードを解除する。
 - センサー及びフロントレンズカバーを清掃する。
 - センサーへの光の当たり具合を確認する。
 - 電池を交換する。
- 遮光度が明るすぎる/暗すぎる場合
 - 遮光度の調整を行う。
 - フロントカバーレンズを取換える。(汚れたカバーレンズがセンサーに支障をきたしている。)
- シェードカートリッジがちらつく場合
 - 電池を交換する。
- 視界がよくない
 - フロントカバーレンズ、内側ズカバーレンズ及びシェードカートリッジを清掃する。
 - 溶接作業に適切な明るさに遮光レベルを調整する。
 - 周囲の照明を明るくする。
- 遮光溶接面がずれる
 - ヘッドバンドを調整する。

11

製造：
optrel AG
industriestrasse 2 CH-9630 wattwil Switzerland

販売：
ラメール株式会社
〒143-0006
東京都大田区平和島6-1-1東京流通センター センタービル814
TEL: 03-5753-4822 FAX: 03-5753-4833
Email: sales@lamerco.com
URL: https://www.lamerco.com

14